

## 2007年度(平成19年度)第2回理事会記録

日時：2007年(平成19年)3月27日(火)18:00~19:00

場所：大阪国際会議場12階1201号室

出席者：廣川信隆(理事長)、河田光博、澤田 元、柴田洋三郎、高田邦昭(以上、常務理事)、石村和敬、内山安男、大野伸一、近藤尚武、塩田浩平、菅沼龍夫、高野吉郎、竹内義喜、藤本豊土、(以上、理事)、中河志朗(監事)、依藤 宏(常任幹事)、天野恵子、川村知子(以上、口腔保健協会)

欠席者：井出吉信、杉浦康夫、脇田 稔(以上、理事)、仙波恵美子(監事)

### ・理事長挨拶

3年6期振り返り、学会事務センターの倒産など様々な出来事があったが、幸いなことに会計も持ち直し、現在は大きな問題も生じていない。このような形で退任できるのも常務理事会、理事会の先生方および学会員の方々のおかげと感謝している。しかし、解剖学会を取り巻く医学教育・研究の状況は楽観を許さず、この中で解剖学教育・研究をきちんとできるようにするためには、きちんと発言していくことが肝要である。懸案事項はあるが、幸い無事に柴田先生にバトンをわたすことができ安心している。皆様に感謝の意を表し、挨拶としたい。

### ・議事録署名人の選任

議事録署名人として近藤尚武、高野吉郎両理事が選任された。

### ・会議記録の確認

2007年度(平成18年度)第1回理事会記録、同摘録、同議事録(案)

### ・報告事項

#### 1. 庶務報告(高田庶務担当理事)

##### (1) 年会費納入状況(長期未納者の除名について)

4年間会費未納者の一覧が学会会場受付に掲示済みであるが、このまま未納なら総会を経て除名となる。知人がいれば声をかけて頂きたいとの要請がなされた。

##### (2) ホルマリンの取り扱いに関するヒアリングについて

厚生労働省労働基準局より、職場で扱われる化学物質の健康障害防止のためのリスク評価事業に関係して、ホルマリンの取り扱いに関するヒアリングをおこないたいとの申し入れがあった。この件に関し、児玉解剖体委員長にも相談した結果、坂井建雄順天堂大学教授に対応して頂くことになった。なお、ヒアリングは平成19年2月23日に無事終了した。

##### (3) 解剖学用語集の出版

解剖学用語委員会編集の解剖学用語 改訂13版が医学書院から出版された。

##### (4) その他

総会の委任状提出に関し、理事の先生方への感謝の意が表された。

#### 2. 編集報告(柴田編集担当理事)

##### (1) 解剖学会雑誌及びA S I刊行報告

両誌の第 82 巻 1 号が順調に刊行された旨、報告がおこなわれた。

( 2 ) その他 Blackwell 社の Wiley 社との合併の進捗状況について

合併が英国において 2 月 2 日に承認されたこと、日本の Blackwell 社は存続すること、Wiley 社はアジアには拠点を持っていなかったため、影響はあまりなさそうであることなどが報告された。

3 . 企画・渉外報告 ( 河田企画・渉外担当理事 )

( 1 ) 第 112 回日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況報告

順調に進んでいる旨の報告がおこなわれた。

( 2 ) その他

日本医学会 定例評議員会の報告がおこなわれ、平成 23 年度の総会は東京において、国立病院機構理事長 矢崎義雄会頭のもとで実施されるとのことである。

海外学術団体との交流 本日昼、海外交流委員会がおこなわれ、IFAA、APICA などについて、経緯、現状、見通しについて話した。今後、新執行部で十分に検討して頂き、それをもとに、海外交流委員会での活動をおこなってゆきたい旨の報告がなされた。

・ 審議事項

1 . 平成 18 年度事業および業務監査報告

資料をもとに、学術集会開催状況、会議開催状況、学会誌の刊行状況、委員会報告、研究の奨励および業績の奨励、内外学術団体との協力ならびに連絡、技術士認定について報告がなされ、審議の結果、承認された。

2 . 平成 18 年度決算および業務監査報告

資料をもとに標記の報告がおこなわれ、審議の結果、承認された。

3 . 平成 19 年度予算および事業計画

資料をもとに説明がおこなわれ、一部修正のうえ承認された。

4 . 平成 19 年度総会・学術評議員会資料の確認

標記につき確認がおこなわれ、承認された。

上記の 2007 年度 ( 平成 19 年度 ) 第 2 回理事会の議決および確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

2007 年 ( 平成 19 年 ) 月 日

社団法人 日本解剖学会

議長

署名人

署名人